

2012年6月26日

全国大学国語教育学会

2012年度 学会通信 第1号

全国大学国語教育学会事務局

理事長 塚田泰彦

筑波大会実行委員長 島田康行

入梅の候、学会員の皆様にはご健勝のことと存じます。

先日開催されました第122回筑波大会は、学会員の皆様のご協力のお陰をもちまして、盛会のうちに終えることができました。パネルディスカッションの後、懇親会場を埋め尽くして歓談されている会員の皆様の熱気で事務局も慰労されました。改めて感謝を申し上げます。

◆第123回 富山大会のご案内（第1次）

富山大会実行委員長・米田 猛（富山大学）

■第123回大会は、2012年10月27日（土）、28日（日）に富山大学五福キャンパス（富山市五福3190）にて開催いたします。

◆編集委員会・常任理事会は、前日の10月26日（金）ANAクラウンプラザホテル富山にて行います。

■学会参加については、事前申し込みとなります。

（JTB富山支店より、参加申込書等が学会員に郵送されます。9月中旬の予定です。）

■大会2日間の概要（予定）

会場：富山大学五福キャンパス 共通教育棟及び黒田講堂（2日間とも）

<第1日 10月27日（土）>

午 前：自由研究発表（共通教育棟）

昼 ：理事会（黒田講堂）

午 後：総会（黒田講堂）

パネルディスカッション（黒田講堂）

テーマ 「『国語の特質』をどう教えるか

—国語教育研究と日本語学研究の連携—」

コーディネーター：米田 猛（富山大学）

登壇者：島田 康行（筑波大学）

千々岩弘一（鹿児島国際大学）

山田 敏弘（岐阜大学）

懇親会（ANAクラウンプラザホテル富山）

<第2日 10月28日（日）>

午 前：課題研究発表（黒田講堂）

テーマ「国語教育研究手法の開発(2)―教育社会学・文化人類学研究との
交流を通して―」

コーディネーター：村井万里子（鳴門教育大学）

登壇者：箕浦 康子（元お茶の水女子大学）

渡邊 雅子（名古屋大学）

藤原 颯（兵庫県立大学）

午 後：自由研究発表（共通教育棟）

ラウンドテーブル（共通教育棟）

公開講座（黒田講堂）詳細は研究部門からのご案内をご覧ください。

◆第123回 富山大会自由研究発表者・ラウンドテーブルコーディネーターの募集について

富山大会実行委員長・米田 猛（富山大学）

1. 募集区分

自由研究発表・ラウンドテーブル（ラウンドテーブルは1時間30分を予定しています。）

2. 発表等の申し込み手順

（1）往復はがき（往信面）に次の事項をご記入のうえ、申し込んでください。

1）自由研究発表の場合

①発表区分 自由研究発表

②発表題目（申し込み後の変更は不可）

③氏名（ふりがなを必ずつける）

④所属等（所属、職名、電話番号、メールアドレス）

⑤住所、電話番号、緊急時連絡先（携帯電話）

⑥プロジェクト使用希望（プロジェクト使用希望者は、必ずご記入ください。パソコンは発表者持ち込みです。プロジェクトは会場備えつけのものを使用できますが、パソコンとの関係で、発表者が持ち込むことも可とします。準備時間も発表時間に含みます。）

*返信はがきには、ご自分の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。

2）ラウンドテーブルの場合

①発表区分 ラウンドテーブル

②題目（申し込み後の変更は不可）

③コーディネーター氏名（ふりがなを必ずつける）

④所属等（所属、職名、電話番号、メールアドレス）

⑤住所、電話番号、緊急時連絡先（携帯電話）

⑥登壇予定者（所属・氏名）

＊返信はがきには、ご自分の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。

（２）申し込み先（富山大会事務局）

〒９３０－８５５５ 富山市五福３１９０

富山大学人間発達科学部 米田 猛 宛

（３）発表申し込み締め切り

７月２７日（金）必着

＊締め切り後は受け付けません。また、発表日のご指定もご遠慮ください。

＊会場の許容数に達した場合は、先着順で締め切らせていただく場合もあります。

（４）発表要旨集の原稿締め切り

８月２４日（金）必着 送付先は上記（２）と同じ。

＊締め切り後のものについては、題目・所属・氏名のみの掲載となります。

＊要旨のテンプレートは、学会ホームページ（<http://www.gakkai.ac./JTSJ/>）の「テンプレート集」にあります。要旨は４ページ以内でお願いします。

（５）大会全般についての問い合わせ先（できるだけメールにてお問い合わせください。）

富山大学人間発達科学部 米田 猛 電話・FAX：０７６－４４５－６２６５

Eメール：komeda@edu.u-toyama.ac.jp

◆公開講座開催のご案内

研究部門：小川雅子（山形大学）

■第１２３回富山大会にあわせて、下記の要領で公開講座を開催いたします。会員、非会員を問わず参加が可能です。奮ってご参加ください。

公開講座（黒田講堂）詳細は研究部門からのご案内をご覧ください。

１ テーマ「考えること」の指導研究（１）－考える力とその方法－

コーディネーター：植山俊宏（京都教育大学）

指定討論者：宮元 博章（兵庫教育大学）

西上 慶一（岡山市教育研究研修センター）

香西 秀信（宇都宮大学）

３ 日 時 ２０１２年１０月２８日（日）

４ 会 場 富山大学

５ 参加対象 学会員および参加希望者 ※公開講座のため参加費無料

◆『国語科教育』第73集 投稿募集について

第73集編集委員長 難波博孝（広島大学）

1. 投稿論文は、2012年8月1日（水）から8月31日（金）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。（従来と変わりますのでご注意ください）

169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

（株）国際文献印刷社内

全国大学国語教育学会投稿受付窓口宛

3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。
（投稿要領が新しくなっていますのでご注意ください）

『国語科教育』投稿要領

- 1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。なお、他誌に投稿する論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
 - 2 募集枠は、「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記する。ただし採択の枠付けは、編集委員会の最終的な判断によるものとする。
 - 3 連続掲載は、原則として2回までとする。
 - 4 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてパソコンを使用する。
 - 5 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。
 - （1）横書きの場合
23字×44行×2段（1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）
 - （2）縦書きの場合
33字×31行×2段（1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目氏名のスペースとして7行2段をとる。）
- * 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを使用すること。
- * 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。

＊ 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は8割以上とする。

6 原稿は以下の体裁で整えること。

(1) 論文本体

＊ 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。

(2) 注（ただし、引用のための注はつけない）

(3) 参考文献

＊ 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。

7 投稿に際しては以下のものを同封する。

(1) 電子媒体（OS名と作成ソフト名を記載すること）

(2) 打ち出し原稿4部（複写でよい）

(3) 投稿者情報（A4一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先（電話番号、Eメールアドレス、住所）、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの）

なお、提出物は原則として返却しない。

8 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。

9 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

◆学会発表および学会誌投稿の資格について

全国大学国語教育学会事務局

■年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表・ラウンドテーブルへのお申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。新しく入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため（常任理事会での承認・当該年度の会費納入）、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意ください。

大熊徹常任理事の進行で、慣例により前回大会開催校渡邊春美氏（高知大学）を議長として選出し、総会を開催した（筑波大学2H201教室）。総会に先立ち、塚田泰彦理事長が挨拶を述べた。また、筑波大会開催状況について、大会実行委員長島田康行氏（筑波大学）から、500名に迫る参加者が見込まれることが報告された。

I 議事

1. 2011年度事業報告

2. 2011年度会計報告・監査報告

上記について事務局、監査より説明・報告があり、異議なく認められた。

3. 2012年度事業計画

4. 2012年度予算

上記について事務局より提案があり、異議なく認められた。

5. 今後の学会開催について

すでに承認されている2012年123回大会（富山大学）、2013年124回大会（弘前大学）、125回大会（広島大学）に加え、2014年126回大会（愛知教育大学）が承認された。

123回大会、124回大会については次のような案内があった。

123回大会（富山大会）米田猛氏（富山大学）より。

日程：2012年10月27（土）・28（日）、会場：富山大学

124回大会（弘前大会）児玉忠氏（弘前大学）より。

日程：2013年5月18日（土）・19日（日）、会場：弘前大学

6. 学会事務委託について

事務局より学会の業務委託先について、二社の見積もりに基づき常任理事会、理事会で検討した結果、国際文献印刷社に今年度より業務委託を開始することが提案され、承認された。

7. その他 とくになし。

II 報告事項

1. 編集委員会（『国語科教育』第72集編集状況等について）

植山俊宏編集委員長（京都教育大学）より、下記の事項について報告があった。

- ・投稿総数32本、うち研究論文、資料をあわせ、修正採択4本、修正再審査4本であること。
- ・次号編集長が難波博孝氏（広島大学）に決定したこと。

あわせて「全国大学国語教育学会優秀論文賞」の選定の段取りについて説明があった。

2. 研究部門

- ・小川雅子氏（山形大学）より、2012 年度秋の大会における課題研究、公開講座について報告があった。（「第 123 回 富山大会のご案内」（第 1 次）、「公開講座開催のご案内」参照）

3. 広報部門

- ・鶴田清司氏（都留文科大学）より、学会ホームページの運用に関して検討中である旨報告があった。

4. 「成果と展望Ⅱ」編集委員会

- ・鶴田清司氏（都留文科大学）より、6 月中には全ての原稿を集約し、今年度中には刊行したい旨の報告があった。

5. その他 とくになし。

◆学会事務局からのお知らせ

全国大学国語教育学会事務局

学会事務局移転について

本学会としてかねてより検討しておりました、本部事務作業の外部委託先については、2012 年度第一回常任理事会、理事会、総会の議を経て、国際文献印刷社に決定いたしました。同社の概要については下記ホームページをご覧ください。

<http://www.bunken.co.jp/>

『国語科教育』第 73 集の投稿募集案内に記載してある通り、投稿原稿の受付が委託後最初の仕事ということになります。他の業務についてもこれから打ち合わせと同時進行で引き継ぎを行い、完全な移行は 9 月 2 日（月）を目ざしております。

このことに伴いまして、以下の二点についてご留意くださるよう、お願いいたします。

（1）現在の振替口座の閉鎖について

事務局の移転に伴い、下記の振替口座は 2012 年 7 月 27 日（金）を以て閉じます。9 月以降には新口座をご案内することになりますが、可能な限り、同封の振替用紙で現口座に振り込んでくださるようお願いいたします。

なお「請求金額」が「0 円」の方にも、振替用紙を同封しておりますことを、ご了承ください。

<口座番号>

郵便振替口座番号 01370-4-70223

加入者名 全国大学国語教育学会

(2) 学会事務について

通常の学会事務全般についてのお知らせ、問い合わせなどについては、8月末日までは現事務局（筑波大学事務局）で受け付けます。新事務体制の詳細については富山大会の二次案内にあわせてお知らせします。

今後の日程の概略について

- 7月下旬 富山大会自由研究発表締め切り
- 8月末 『国語科教育』第73集原稿募集締め切り
第123回富山大会二次案内発送
- 9月 『国語科教育』第72集発行
- 10月27日・28日 第123回富山大会
- 1月末 「学会通信」第2号発行
- 3月末 『国語科教育』第74集原稿締め切り
『国語科教育』第73集発行

◆新入会員のお知らせ（受付順、敬称略）

*個人情報保護のためPDF版では削除してあります。

全国大学国語教育学会事務局

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学域

kokugokakyouiku@gmail.com